

平成29年度第1回千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会議事録

- 1 日時：平成29年8月4日（金） 午前10時00分～午前12時00分
- 2 場所：千葉市議会（千葉市役所議会棟）第2委員会室
- 3 出席者：
 - (1) 委員
岩切 裕委員（会長）、鶴見 泰委員（副会長）、小栗 一徳委員、松寄 洋子委員
 - (2) 事務局
【こども未来局】 佐々木こども未来部長
【こども未来部こども企画課】 始関課長
【こども未来部幼保支援課】 内山課長
- 4 議題：
 - (1) 会長・副会長の選任について
 - (2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 「千葉市子ども交流館」について
イ 「千葉市子育て支援館」について
 - (3) 今後の予定について
- 5 議事の概要：
 - (1) 会長・副会長の選任を行った。
 - (2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 「千葉市子ども交流館」について
平成28年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。
イ 「千葉市子育て支援館」について
平成28年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。
 - (3) 今後の予定について
事務局より、議事録と評価シートの公表について説明を行った。
- 6 会議経過：

○事務局 それでは、定刻より少し早いのですが、皆様おそろいですので始めさせていただきます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。これより、平成29年度第1回こども未来局指定管理者選定評価委員会を開会させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、こども企画課の田中でございます。よろしくお願いたします。

本日は、委員の半数以上の御出席がございますので、条例の規定により、会議が成立しておりますことを御報告いたします。

また、当会議は公開となりますので、あわせて御報告をさせていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。本日は、机上に次第、委員名簿、席次表、参考資料、資料2-2、資料3-2と書かれた年度評価シートを配付してございます。こちらにつきましては、事前に送付しております青色のファイルにとじてあるものをA3に拡大したものでございますので、内容は同じでございます。それから、事前にお配りしております青いファイルの配付資料、黄色いファイルの参考資料が本日の資料となります。不足はございませんでしょうか。

それでは、開会に当たりまして、こども未来局こども未来部長の佐々木より御挨拶を申し上げます。

○佐々木こども未来部長 皆様、おはようございます。ただいま御紹介いただきました、こども未来部長の佐々木でございます。

本日は、大変お忙しい中、委員会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、本委員会も含め、日ごろより市政各般にわたりまして多大なる御支援、御協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

昨年度は、非常にタイトなスケジュールの中でありましたけれども、子ども交流館と子育て支援館の平成29年度からの次期の指定管理者の選定に当たりまして、合計3回にわたりまして御審議をいただいたところでございます。改めて感謝を申し上げたいと思います。おかげさまをもちまして、現在、各施設におきましては、滞りなく事業が進められており、市民にとりまして、より良いサービスの提供が行われているというふうに考えております。

さて、本日でございますけれども、子ども交流館と子育て支援館の指定管理者が行った施設の管理に係る最終年度、5年度目の年度評価について御審議をいただくということでございます。委員の皆様におかれましては、施設の管理運営、あるいは財務状況等について、それぞれ御専門のお立場から忌憚のない御意見を頂戴いただけますようお願いを申し上げます。甚だ簡単ではございますが、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いたします。

○事務局 続きまして、委員の方の紹介でございますが、前回の委員会から変更ございませんので、お配りしております委員名簿により、御紹介にかえさせていただきます。

なお、事務局職員の紹介につきましても、お手元にお配りしております席次表の配付によりかえさせていただきます。

それでは、議事に入らせていただきますが、会長選出までの間、仮議長をこども未来部長が務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

○佐々木こども未来部長 それでは、会長が選出前ということでございますので、その間、

仮議長を務めさせていただきます。

まず、議題(1)会長・副会長の選任についてでございます。会長及び副会長の選出は、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第9条第2項の規定によりまして、委員の皆様の互選により定めることとなっておりますけれども、皆様いかがでございますでしょうか。

○松寄委員 では、私から御推薦申し上げたいと思います。

会長には、引き続き、豊富な経験を積まれており、幅広い知識をお持ちの岩切委員にお願いできればと思っております。また、鶴見委員にも、引き続き副会長としてサポートしていただきたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

○佐々木こども未来部長 ありがとうございます。ただいま松寄委員より、会長に岩切委員を、副会長に鶴見委員をという御発言がございましたが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木こども未来部長 それでは、異議がないようでございますので、岩切委員に会長を、鶴見委員に副会長をお願いいたしたいと思っております。

会長と副会長の任期でございますけれども、特に規定はございませんが、委員の任期と同様ということで、同じ期間とさせていただきたいと存じます。

それでは、ここからは会長に議事進行をお願いいたしたいと思っております。どうも御協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

○事務局 それでは、岩切委員には会長席に、鶴見委員には副会長席に御移動をお願いいたします。

(岩切委員、鶴見委員、会長席・副会長席に移動)

○事務局 それでは、岩切会長、鶴見副会長より就任の御挨拶をお願いいたしたいと思います。お願いいたします。

○岩切会長 皆さんおはようございます。会長に御推挙いただきました岩切でございます。大分やっておりますので、そろそろかと思っていたんですけれども、引き続き務めさせていただきます。鶴見委員にはサポートしていただきながら、また、委員の皆様には御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○鶴見副会長 副会長に選任されました鶴見でございます。会長を精いっぱい補佐してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。以後の議事進行につきましては、岩切会長にお願いを申し上げます。よろしくお願いいたします。

○岩切会長 それでは、次第に従いまして議事を進行してまいりたいと思っております。御協力のほど、よろしくお願いいたします。

議題(2)指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についてに入らせていただきます。

まず、年度評価の概要について、事務局より御説明願います。

○始関こども企画課長 おはようございます。こども企画課、始関でございます。どうぞ

よろしくお願ひいたします。座って御説明させていただきます。

それではまず、指定管理者選定評価委員会による、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要について御説明をいたします。

まず、評価の目的でございますが、指定期間中の各年度の終了後に、履行状況の確認を行い、選定評価委員会へ報告することによって、委員の皆様からの御意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため、実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、平成28年3月に指定管理者制度の全体を統括する業務改革推進課におきまして、評価関係資料の見直しがなされ、昨年度と指定管理者年度評価シートの様式が改訂されておりますので、あわせて御説明をさせていただきます。

本日、机上に配付させていただきました参考資料をご覧ください。

まず、見直しの概要を御説明いたします。

初めに、見直しの経緯でございますが、千葉市におきましては、指定管理者制度の導入から10年以上が経過し、平成26年時点で100を超える施設が指定管理者制度導入に係る指針等により、施設の管理運営を行ってきたところでございます。その中で、さまざまな制度運用上の課題も明らかになる一方、コミュニティセンターやスポーツ施設など、多くの施設で指定期間が27年度に満了となることから、28年度からの次期指定管理期間に向けて、27年3月に新たなガイドラインが策定され、27年度よりこのガイドラインに基づいて選定が行われたところでございます。さらに、28年3月には、ガイドラインの内容を踏まえ評価関係資料の見直しもされまして、今回より見直し後の内容により評価を行うものでございます。

子ども交流館、子育て支援館につきましても、見直し後の内容により評価を行うものでございますが、御注意いただきたいのは、両施設は、千葉市のほかの多くの施設と1年ずれているというところでございます。

下のイメージ図をご覧ください。上段が見直しの時期ということで、星印が27年3月のガイドライン策定、丸印が28年3月の評価資料の見直しとなっております。中段が交流館、支援館以外の本市の多数の施設の流れになっておりますが、星印に基づいて選定し、丸印により評価を行っております。一番下が交流館、支援館となりますが、23年度の三角印、前期選定というのがございますが、このときの選定基準に基づきまして、今回、丸印の28年度の評価をしていただきます。

この図のように、ほかの施設とは1年ずれておりますので、年度評価シートに記載不能な項目がございますので、御了解いただければと思います。詳細につきましては、後ほど御説明させていただきます。

次に、資料の裏面をご覧ください。見直しの内容でございますが、表の左側に見直しの内容、右側に、年度評価シートの項目を記載してございます。全般的には、成果指標の達成状況など、評価に係る部分が充実しております。表の内容につきましては、後ほど、資料2-2の子ども交流館の年度評価シートを例に御説明をいたします。1つ1つの説明は割愛させていただきますが、1点だけ御説明させていただきますと、今回より、

評価の段階が3段階から5段階に見直されております。

下の評価段階の変更をご覧いただきたいのですが、前回までは、履行状況を3点から1点で評価を行い、その結果をもとに、全体評価としてS、A、Bという3段階の評価を行ってまいりました。今回は、管理運営状況の評価、総括評価とも、AからEの5段階評価となっております。Cが、概ね市が求める水準どおりに管理運営がされているという標準となっております、それより優れているか、または改善が必要かを示すようになっております。

次に、3の評価の流れでございますが、まず、大まかに説明いたしますと、月次報告書の確認や現地視察等によるモニタリングを行い、その結果に基づきモニタリングレポートを作成し、その結果や収支状況などに基づき年度評価シートを作成し、選定評価委員会で御審議いただいた後に公表するという流れになっております。

次に、資料4、評価の目安については、わかりづらいので御説明をさせていただきます。本日、机上に配付いたしました資料4をご覧ください。

これまでも評価の目安はございましたが、全市的に評価の基準を一定程度統一するため評価の目安が改定され、今回は、この目安に基づき評価点を算出してまいります。まず、指定管理者の選定時の審査項目に基づきまして、項目を作成したモニタリングの結果を「◎」、「○」、「×」の3段階で評価いたしまして、それをこの目安に従い点数化いたします。例えば、選定時に指定管理者が、市が求める管理運営の基準を超える提案を行い、かつ、当該提案が市民サービスの向上に資するものである場合、プラス評価の「◎」。また、実際に指定管理を行った実績の中で、モニタリングで確認した結果が基準を上回る管理運営が行われている場合、確認結果が「◎」となり、表の一番上になりますが、点数がプラス2.5点となります。このように算出した評価点から、評価項目に対応するモニタリング項目、1項目当たりの平均値を算出いたしまして、AからEまでの5段階で評価を行います。

②の平均値の算出では、①で算出した評価点を対応する目安に当てはめまして、AからEまでのいずれかで評価を決定いたします。

裏面をご覧ください。総括評価でございますが、各評価項目の市の評価により、AまたはBの評価の割合により、総括評価の目安とすることとされております。

それでは、A3、縦の資料、評価の目安に基づく評価結果の算出方法をご覧ください。あわせてご覧いただいたほうがおわかりいただけるかと思っております。こちらは、モニタリングレポートから年度評価を算出する各資料の一部を抜粋して示したものでございます。一番上、資料2-4のモニタリングレポートでございますが、これは基本的には、指定管理者の選定時の審査項目に基づき作成するものでございます。

まず、左側のモニタリング項目の3(1)「ア 個人情報保護」欄をご覧ください。右にたどっていただき、中央にございますプラス評価のところでございますが、指定管理者の選定時に、市が求める基準を超える提案がなされた場合、ここに「◎」が付き、その内容が記載されます。この場合ですと、基準どおりの提案であったことから表示がないものとなっております。次に、一番右側、点線で囲ってございます確認結果ですが、こ

の場合ですと、実際に行った指定管理の年度評価が提案どおりに履行され、概ね基準どおりに管理運営が行われているということで、「○」となっております。

次に、この場合、「○」という確認結果の点線をたどっていただきまして、その下の資料4、評価の目安、①各モニタリング項目の年間の点数の算出という基準に当てはめますと、提案時にプラス評価がなく、かつ、確認結果が「○」との結果でございますので、点数がゼロとなります。わかりづらいとは思いますが、このゼロという点数が基準どおりの評価となります。

ちなみに、指定管理の選定時に、市が求める基準を超える提案がなされ「◎」、かつ、実際に行われた指定管理の年度評価が、そのプラス評価であった提案内容をさらに超える実績があった場合、確認結果も「◎」となり、点数はプラス2.5点となります。

資料の内容に戻りますが、資料の2段目の表の評価の目安で得たゼロという点数を、次の資料2-3、評価の目安による算出表のアの個人情報保護の9月という欄、②と書いてあるところに記載をいたします。交流館の場合ですと、モニタリングを9月と12月の2回行っておりますので、12月分も同様に算出し、ゼロとなりまして、項目の評価平均がゼロとなります。

③の吹き出しにもございますが、同様に、全ての小項目ごとに、年間のモニタリングの項目平均を算出し、さらに、その平均をもって、大項目1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理の評価平均を算出するもので、ゼロという結果となります。

次に、評価平均ゼロを、④の点線をたどっていただきまして、その下の資料4、評価の目安の②平均値の算出に当てはめますと、「平均値が-0.5を超え0.5未満」ということでC評価となり、これを⑤の点線をたどっていただきまして、上の表の市の評価の欄に記載いたします。これが目安に基づき算出した評価となります。

次に、⑥の点線が、これを資料2-2の年度評価シートの(3)管理運営の履行状況の1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理の市の評価の欄に反映いたします。

次に、⑦が全ての大項目について、市の評価を算出し、最後にその評価の割合により、総括評価の目安を算出いたします。今回ですと、点線で囲んでございますが「評価項目の20%以上が『A』又は『B』かつ評価項目に『D』又は『E』がない」ということでB評価になりまして、⑧の点線をたどっていただいて、年度評価シートの最終ページ、7、総括の(2)市による評価がBとなるという流れでございます。

わかりづらいと思いますが、選定時の評価項目とその評価を考慮し、指定管理者の提案に基づき、どういった管理運営がなされたかをモニタリングレポートの「◎」、「○」、「×」の確認結果により、全庁的な目安から点数化し、その点数をもとに履行状況をAからEで評価し、さらに、その各評価項目から総括評価を行うという流れになってございます。これまでもモニタリングはございましたが、今回からモニタリングの結果が各評価項目の評価に反映されるようになっております。

なお、こちらの方法により算出した評価は、あくまでも目安でございますので、総合的に判断して、異なる評価をすることや選定評価委員会の意見を踏まえて評価を修正することも可能となっております。

それでは、実際の評価シートで詳しく御説明をさせていただきます。ファイルにもとじてございますが、本日、机の上にA3に拡大したものを御用意しましたので、そちらをご覧ください。

なお、見直し前の子ども交流館の年度評価シートにつきましては、黄色いファイルの参考資料1-4に御用意してございますので、必要に応じてご覧ください。

評価シートは、大きく7つの項目で構成されております。まず、1、公の施設の基本情報と2、指定管理者の基本情報ですが、施設名称や設置目的、指定管理者名などの基本情報とビジョン、ミッション、成果指標、数値目標などが追加されているところがございますが、先ほど御説明しましたとおり、平成26年度以前に指定を行った指定管理者については、ビジョン等の項目について設定をしておりません。今回、御意見をいただくのは、平成23年度に指定した分の最終年度の評価となりますので斜線としております。

次に、3、管理運営の成果・実績でございますが、成果指標に係る数値目標の達成状況などが、今回追加されたところがございますが、こちらにつきましても、23年度の選定時点では、(1)成果指標を設定しておりませんので、斜線としております。

ページをおめくりいただきまして、4、収支状況でございますが、必須業務収支状況につきましては、実績と計画の比較のほかに、提案時の見積額と年度の事業計画で定めた計画額の差異を分析する内容が追加されたところがございます。なお、一番下の米印の2に記載してございますとおり、23年度の選定時の提案額は、消費税の税率が5%でございましたが、28年度時点では消費税率が8%に上がっておりますので、こちらは提案時の額そのままではなく、消費税を8%に換算し直した提案額を記載してございまして、若干増減が出ております。

ページをおめくりください。今回、本社費・共通費の配賦基準・算定根拠が追加されております。また、自主事業につきましては、収支の実績のみを記載するようになっております。最後に、(3)で必須業務と自主事業の収支状況をまとめてございます。

5、管理運営状況の評価ですが、成果指標の目標達成状況や施設管理経費縮減状況が記載されておりますが、(1)の管理運営による成果・実績につきましては、先ほどと同様に評価ができませんので斜線としております。

4ページ、(3)管理運営の履行状況でございます。まず、評価項目についてですが、こちらは指定管理者の選定時、平成23年度の審査項目等をもとに、それぞれの施設の特性や実情に応じて設定しております。

先ほど御説明した流れにより、市の評価を記載しておりますが、次の5ページの真ん中、市の評価の網かけにしている部分でございますが、Bに下線を引いております。こちらは、先ほどの目安により算出された評価点を変更した項目でございます。算出した評価点をそのまま市の評価とする項目と、目安として算出された評価点によらず、施設の特性や管理の状況を踏まえ、最終的な市の評価とする項目がございまして、変更した評価はこのような表記としております。一番下に、新たに、選定評価委員会の意見を踏まえた対応が追加されております。

6、利用者ニーズ・満足度等の把握でございますが、ここの部分につきましては前回と大きな変更はございません。

最後に、7、総括として、指定管理者及び市による総括評価と委員会の意見を記載するようになっております。こちらは、年度評価シート全体の記載を踏まえ、総括的な評価を行うものでございます。先ほども御説明いたしましたとおり、目安により評価を算出し、さらに、所見として指定管理を通じた全般的な評価を記載するようになっております。

なお、先ほどと同様に評価の目安でございますので、施設の状況に応じて評価点を変更したり、選定評価委員会の意見を踏まえて修正することも可能となっております。

以上により、市で作成した指定管理者年度評価シートと指定管理者から提出された事業報告書、計算書類等の資料に基づきまして、選定評価委員会より当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善に要する点や指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するため、当該指定管理者の財務状況などに対する御意見をいただくものでございます。最終的に、御審議いただいた中で、当委員会としての意見を取りまとめいただきまして、委員会会長より市に対して答申をしていただきます。

なお、答申でいただきました御意見は、年度評価シートの7、総括の(3)こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見欄に記載させていただきます。また、評価結果の取り扱いでございますが、指定管理者による管理運営の改善、効率化に向けた取り組みを促進するため、当該指定管理者に通知するとともに、選定評価委員会の御意見を記載した年度評価シートを市ホームページで公開させていただきます。

説明は以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。この最終年度の評価でございますけれども、最終年度になって評価方法が大きく変わりました、私もなかなか理解が難しい部分もあったんですが、モニタリングの結果を反映した評価になっているということと、特に難しいのは、評価の算出方法で零点というのが基準になっていますので、そのあたりが、慣れないとちょっと違和感があるかなと思います。それから、3段階の評価から5段階の評価になったということなんですけれども、今御説明ありましたことで委員の皆さん方、何か御質問ございますか。

○松崎委員 聞き逃してしまったと思うんですけれども、確認結果3段階の「◎」と「○」の違いをもう1度教えていただいてもよろしいでしょうか。

○岩切会長 お願いできますか。

○始関こども企画課長 資料をもう1度ご覧いただければと思うんですが、まず、資料4とA3縦の資料を見比べていただいて、A3の資料でいきますと、一番上のモニタリングレポートと書かれているところになります。まず、こちらにつきましては、選定時の評価基準に基づいた項目によりまして、その時点で市が求める管理運営の基準を超える提案がなされた場合は、真ん中の欄、プラス評価と書かれたところに「◎」がつく形になります。市が求めた基準どおりであれば、特に何もつかない形になります。最終的に、

年度ごとのモニタリングを行いまして、その結果を一番右、確認結果の欄で確認をして、選定時の提案を超える、それ以上のものであればそこにも「◎」がついて、プラス2.5点が配点されると。市が求める基準どおりで選定時に求める提案内容であれば何もなくて、その後に年度のモニタリングを行った結果で「◎」があればプラス2点、提案どおりの内容であれば何もなくて「○」がつくと零点、何もなくて提案を超えた実績があった場合は「◎」がついてプラス2点、さらに、提案内容が市が求める基準を超えるものであれば「◎」がついて、さらに、その結果を上回る実績が伴えば「◎」が2つでプラス2.5点。ちょっとわかりづらいですかね。

○松寄委員 市の基準を超えるものが確認されたときに「◎」で、市の基準が確認されたときに「○」ということでよろしいですか。

○始関こども企画課長 プラス評価の欄につきましては、市が求める基準の内容を超えた提案があった場合「◎」、それ以外は何もつかない形になります。モニタリングの結果につきましては、基準を上回る管理運営が行われている場合「◎」、概ね基準どおりに管理運営が行われている場合「○」、基準どおりに管理運営が行われていない場合は「×」という評価がつくということでございます。

○小栗委員 これは時点が違うということですか。

○始関こども企画課長 真ん中と右側は違うということですね。

○小栗委員 真ん中は提案時、一番右は確認を行った、これは時点の差で欄を分けているということよろしいですか。

○始関こども企画課長 はい。

○岩切会長 そこがわかりづらいですよ。

○松寄委員 つまり、プラス2というのは、提案していないんだけど、確認したら基準を超えていたということですよ。ありがとうございます。

○岩切会長 よろしいですか。このプラス1というのがわかりづらいんだけど、プラス1というのは……。

○始関こども企画課長 提案どおりの内容が実施された場合、結果が「○」になってプラス1になります。

○岩切会長 基準を超えるプラス評価があったんだけど、「○」ということは……。

○始関こども企画課長 提案どおりの内容で実績があったということです。

○岩切会長 なるほど、プラス評価は入っているわけですね。

○始関こども企画課長 そうです。

○岩切会長 プラス評価の提案を踏まえて、そのとおり行われたのが「○」ということですか。

○始関こども企画課長 真ん中に「◎」がついて、確認結果で「○」がつく。

○松寄委員 提案はあるが、確認は市の基準で行ったと言うことでしょうか。

○岩切会長 そういうことでいいですか。プラス評価のところに、この資料では未記入ですから空欄になっていますよね。ここに記入があった場合には真ん中のところが「◎」になりますよね。その確認をした結果、「○」ということは、「◎」の内容が実施された

ということで「○」ですか。「◎」というのは、さらにそれを超える。

○始関こども企画課長 そうです。提案を超える。

○岩切会長 提案を超えるものがあつたときは「◎」ということですか。

○鶴見副会長 提案時と実施時で2回超えると2.5になるわけですね。

○岩切会長 プラス評価があつて、それをさらに上回つた場合は「◎」、「◎」、そういうことですね。よろしいですか、松寄委員。

○松寄委員 済みません。ちょっとよくわかっていないですね。

○岩切会長 ほかの委員さん方は大丈夫ですか。

○始関こども企画課長 まず、もともとが市が求める管理運営の基準というのがあつて、選定時にそれを超えるかどうかで「◎」がつくか、無印かという真ん中のプラス評価となっています。

○松寄委員 プラス評価というのは提案しているということですよ。つまり、こういうのをしますよというところが最初のプラス評価の「◎」ということですよ。

○始関こども企画課長 そうですね。

○松寄委員 それを例えばやりますよといって、やったら「○」なんですか。

○始関こども企画課長 提案どおりの内容が実施されたということで「○」。

○岩切会長 基準にある内容が実施された場合には「○」ということですね。

○松寄委員 基準というのは市の基準じゃなくて、選定業者が言ったこと……。

○始関こども企画課長 提案書に基づいて、提案より超える実績があつたかどうか、提案内容と同じなのか、それともそれを超える実績があつたか。

○松寄委員 そうしたら、確認結果で「○」でも、プラス評価をしているかどうかによって違うということですか。

○小栗委員 マトリックスをつくつたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。縦にプラス選定時、右に確認で「◎」、「○」、「×」のような表にした方が理解できると思います。

○岩切会長 あくまでも基準という欄は、選定時にどういう提案が出されていたかということを知るものですよ。

○始関こども企画課長 そうです。

○松寄委員 市の基準かどうかは関係ないということですね。わかりました。

○岩切会長 関係ないんじゃないですかね。違いますか。

○始関こども企画課長 ここの評価については、市の基準は関係なく提案内容という形です。

○松寄委員 提案内容でやるということですか。

○事務局 プラス評価に関しては、まず市の基準があつて業者の提案がありますので、業者の提案が市の基準を上回っていればプラス評価になります。その確認方法というのは、例えば市の基準で有資格者を5人確保しなさいという場合、業者の提案が10人確保しますという場合では、プラス評価が「◎」になります。結果、業者の提案どおりの10人であれば「○」、業者の提案をそのまま実施したと。さらに、例えば、結果が20人で

あれば、業者の提案をさらに上回っているので確認結果も「◎」というような形です。

○松崎委員 ありがとうございます。

○岩切会長 ほかは御質問よろしいですか。わかりました。それでは、評価が随分変わりましたので、よろしく願いいたします。

それでは、最初に、千葉市子ども交流館の年度評価について御審議いただきたいと思っております。所管課より御説明をお願いします。

○始関こども企画課長 続きまして、こども企画課、始関でございます。座って御説明させていただきます。

それでは、子ども交流館の平成28年度指定管理者年度評価につきまして御説明させていただきます。

本日、机上に配付いたしましたA3、縦の資料2-2、平成28年度指定管理者年度評価シートをご覧ください。

まず、1の公の施設の基本情報でございます。施設名称は、千葉市子ども交流館、設置目的は、子どもの健全な育成と交流を図るとしております。

次に、指定管理者の基本情報でございます。指定管理者名は、アクティオ株式会社でございます。指定期間は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までとなっております。前期指定期間の最終年度の評価となります。

次に、一番下の3、管理運営の成果・実績の(2)その他利用状況を示す指標でございます。業務改革推進課のひな形では、単年度の実績のみとなっておりますが、参考に27年度の実績を右に記載しております。来館者数は15万4,820人と、3年連続で過去最高の来場者数を記録し、101.9%と提案時の目標を達成しております。新規登録者数につきましては、少子化の影響もありまして1万3,953人で、目標達成率は81.3%となっております。

次に、3ページをおめくりください。一番下の(3)収支状況をご覧ください。今回から、事業を大きく指定管理の委託業務としての必須業務と自主事業の2つに分けた後に、それぞれの収支を合算した総収入と総支出で記載しております。まず、必須業務の収支でございますが6,000円の黒字、自主事業の収支は20万8,000円の赤字となっております。総収支といたしましては、20万2,000円の赤字となっておりますが、昨年度に引き続き赤字額は縮小されてきております。

それでは、必須業務から詳細に御説明いたします。恐縮ですが、2ページにお戻りください。

4の(1)必須業務収支状況の「ア 収入」の欄をご覧ください。ここでは、実績と年度計画に差異が生じたものについて御説明をいたします。費目の3つ目、その他収入でございますが、計画と実績の差異は1万8,000円でございます。これは、受託事業の各種講座等の参加者が増加したことによる収入の増となります。

次に、下の「イ 支出」でございますが、まず、費目、人件費ですが、計画と実績の差異は321万9,000円の増となっております。主な要因といたしましては、本市の施策でございますこどものまちCBTへの協力などの時間外や、夏休みの期間における安全対

策のためのアルバイト配置による増でございます。

続きまして、費目、事務費でございますが、差異はマイナス144万2,000円でございます。主な要因といたしましては、電気、ガス等の単価の低下や節電による光熱水費の減で162万7,000円、施設、備品等の修繕費の減で55万円、人件費の売上消費税相当額の増で101万3,000円、その他27万8,000円の減となっております。

次に、管理費ですが、差異は5万2,000円の増でございます。主な要因といたしましては、幼児用の跳び箱の購入など、備品購入の増でございます。

次に、費目、委託費ですが、差異は15万4,000円でございます。主な要因といたしましては、パソコンの保守点検で有料業務が発生したものでございます。

最後に、新たな項目で、本社費・共通費につきましては、次のページをご覧ください。一番上に、配賦基準・算定根拠を記載してございます。アクティオ株式会社からの見解は、平成28年度における本社経費の算出は、当社決算書の平成27年1月から12月までの営業経費である販売費及び一般管理費が11%となっており、その比率を参考としているとのことでございます。子ども交流館に関しましては、収支計画書に示す各項目から、本社経費を除いた総支出に対し、約10%を本社経費として予算計上したところですが、収支報告書の決算では、本社経費を7.2%まで引き下げ、本社経費分をなるべく運営費に充てることで、運営を安定させることに注力した結果ですとのことでございます。

続きまして、(2)自主事業収支状況でございます。収入は196万8,000円で、支出は217万6,000円、20万8,000円の赤字となっております。

以上が収支の詳細でございます。

次のページをおめくりください。続きまして、管理運営状況の評価でございます。(2)市の施設管理経費縮減への寄与でございますが、参考と記載した囲みの中をご覧ください。評価項目、市の指定管理料支出の削減ですが、市の指定管理料の支出実績9,488万8,000円割る提案額9,535万7,000円で約0.995となりまして、削減率は約0.5%となります。下の点線で囲んだ評価の内容に当てはめ、選定時の提案額の5%未満の削減となりますので、評価はCとなります。

次に、(3)管理運営の履行状況でございます。標準の評価がCとなりますので、本日は、色塗りをしてございますBの評価項目、また、評価の目安をもとに算出した評価から変更した評価項目につきまして、御説明をさせていただきます。

まず、評価項目2の施設管理能力の(1)人的組織体制の充実でございます。市が求める管理運営の基準では、常勤職員の半数以上は児童の遊びを指導する者とするとしておりますが、指定管理者におきましては、常勤職員12人全員が児童指導員や教員免許の有資格者を配置しておりまして、水準を上回っていることから、評価の目安のとおりB評価といたしました。

次のページをおめくりください。一番上の評価項目(2)利用者サービスの充実でございます。モニタリングシートの評価の目安上はC評価となりますが、大学生ボランティアサークルを立ち上げ、特に中高生の子どもたちが気軽に訪れやすく、また、学習や進路の相談ができるような環境整備を実施したことを評価し、B評価といたしました。

次に、評価項目(3)施設における事業の実施でございます。評価の目安ではC評価となりますが、利用者の要望を取り入れサービス向上のため、わくわくリトミックを計画では年24回開催のところ38回の実施、また、キッズアトリエを計画上、年3回のところ年4回実施し、来館者数は過去最高となり増加に寄与したことから、B評価といたしました。

以上が管理運営の履行状況でございます。

続きまして、(4)子ども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。平成26年度の評価の際に、幼稚園等の児童交流促進事業につきまして、実績が計画を下回ったことから、早い段階から周知を幅広く行い、改善を図ることとの御意見をいただきまして、翌平成27年度には改善を図り、計画どおりに実施したものでございます。

次のページをおめくりください。6、利用者ニーズ・満足度等の把握の(1)指定管理者が行ったアンケート調査でございます。子ども交流館におきましては、例年と同様に、受付ロビーに常時設置している利用者アンケートと、それから年2回イベント時の特別アンケートを実施し、合計で443件の回答をいただいております。幾つか御紹介いたしますと、いつもいただくバスケットボールの利用への御意見のほか、フリーWi-Fiを利用したい。こちらにつきましては、29年度から対応を図っているところでございます。また、特別アンケートでは、未就学児でも楽しめて良かった、子どもが喜んでいて、先生が褒めてくれて良かったなど、概ね良好な御意見をいただいております。

次に、(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。3例御紹介いたしますと、学習室でお菓子を食べたり、うるさい子どももいるので注意してほしい、掲示も少し変えたほうがよいとの御意見に対しまして、職員の巡回を増やし、注意喚起を図っているところでございます。2つ目に、冷水器を利用するのに、小さい子が使える台があったほうがよいのではとの御意見に対しまして、幼児でも利用できるよう、即、踏み台を設置いたしましたところでございます。最後に、電子マネーが使用できる自販機を置いてほしいとの御意見に対しましては、自動販売機を設置している業者に依頼をしまして、対応について回答を待っているところでございます。

次のページをおめくりください。最後に、総括でございます。まず、(1)指定管理者による自己評価ですが、下の点線で囲んでおります評価の内容からB評価としております。指定管理者の所見といたしましては、新規登録者は減少したが、過去最高の入館者数であった27年度をさらに約3,800人上回ることができた。大学生ボランティア「ジュピター」を発足させ、充実した活動を展開しており、子ども運営委員会との連携など、今後のさらなる発展が期待されるなどでございます。

続きまして、(2)市による評価でございますが、前の4ページ、5ページにございます5、管理運営状況の評価に基づきまして、評価項目数8項目のうち、B評価が3項目ございましたので約38%がB評価で、5項目がC評価でございました。評価の目安では、評価項目の20%以上がAまたはBで、かつ、DまたはEがない場合、総括評価がBとなりますことから、評価の目安に基づき、水準を上回るすぐれた管理運営が行われていた

と評価させていただきました。市の所見といたしましては、施設の広報活動、講座等が良好に運営されている、新規登録者数は目標に届かなかったものの、来館者数については事業の効果的な実施により目標を達成し、過去最高の人数となった。収支においては、自主事業が依然としてマイナスであるが、管理業務はプラスにすることができた。こどものまちC B T事務局事務やワークショップ、児童福祉週間、こども・若者サミットなど、本市の子ども施策への協力体制があり、事業実施に貢献しているなどがございます。

以上が、市による子ども交流館の年度評価でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○**岩切会長** ありがとうございます。それでは、今御説明がございましたけれども、御質問、御意見をいただきたいと思います。また、あわせて御指摘などございましたら、お願いしたいと思います。

それでは、小栗委員からいかがでしょうか。

○**小栗委員** 1点だけですが、資料の3ページの本社費・共通費の配賦基準・算定根拠について、記載されている内容がよく理解できません。まず、お願いしたいのが、そもそもどういう項目が本社経費なのかということと、本社経費を下げたと書いてありますが、本社経費がそもそもどういうものかというのがわからないので、何がどう下がっているのかわからないというのが1つ。

あと、本社経費を減らして運営費に充てることで安定させたと書いてあるのですが、ここもその因果関係がわかりません。この部分の書き方として、次回以降でいいのですが、まず、本社経費とか共通費はどのようなものかというのを具体的に項目別に上げていただく。その上でこれについては目標をこういうふうに置いていると。10%というのも根拠がよくわからないため、結論的には素人にもわかりやすく書いていただきたいということが申し上げたい点になります。以上になります。

○**岩切会長** ここだけではなくて、全体的に財務諸表についてはいかがでございますか。

○**始関子ども企画課長** 基本的に、昨年の評価委員会でも御説明をさせていただいたんですが、アクティオの本社のほうで交流館の運営を支えるための部門が経理であったり、労務であったり、企画担当で行ったりというのがありますので、そこにかかる人件費、それから事務費を本社経費で見るとなような形になってまいります。基本的には、指定管理の委託業務ですので、千葉市からお支払いする指定管理委託料から、その辺が全部賄われるべきであって、その部分のものが示されているというところでございます。考え方につきましては、ちょっと我々も経理に疎いもので、この内容で合っているのかというのはよくわからないところでございまして。

○**事務局** あと、財務状況の御意見をいただく目的として、先ほど課長のほうから説明がありましたけれども、指定管理者の倒産と撤退のリスクを把握するというのが主になります。また、利益に関しては、当館は無料の施設ですので、指定管理者の経営の健全性についての御意見をいただければと思います。

○**小栗委員** もし御提案できるとしたら、本社費だとか、共通費というところは二段書きにして、入れた場合と入れない場合でどう変わるのか。

- 始関こども企画課長 当然のことながら、現場に配置している職員の給与であったり、計算とかは本社が行っていますので、交流館で人件費のところでは赤字が出ていますけれども、夏休みとかの長期休業日の間の安全管理のためにアルバイトを増やしたりということであれば、それも本社のほうに労務としてはかかってくるような形にはなろうかと思えます。
- 小栗委員 アルバイトを採用すると、本社費になりますか。
- 始関こども企画課長 例えば、本社で労務管理をしている人の人件費というのは、その分上がってきちゃうかなと。
- 小栗委員 対前年比較で言えば、赤字も減っていますし、自主事業の増加については、確かに若干気になりますけれども、総トータルで言えば収支は改善していますので、そういう意味ではいい方向に向かっているということだけは申し上げます。
- 始関こども企画課長 来年度の記載については、またちょっと検討させていただきます。
- 岩切会長 それでは、松寄委員、ございますか。
- 松寄委員 特に質問はないんですけども、意見も言ったほうがよいですね。
- 岩切会長 はい。
- 松寄委員 前回問題になっていた就学前のお子さんの利用者が多くなっていて、中高生がなかなか増えないということに関しては、新しい事業を御提案いただいて、高校生も増えているので、とても改善されているなと思いました。就学前のお子さんに関しては、保育所に通うお子さんが多いので、また、人口減もありますので、そういうことも影響していると思いますので、それは特段問題はないかなと思います。
- 岩切会長 鶴見さん、お願いします。
- 鶴見副会長 主に来館者数と新規登録者数なんですけれども、来館者数については、前年比3,800人増でかなりの増が見込まれているということで、これについては非常に評価し得るだろうと思います。新規登録者数は、少子化ということで減っているのはやむを得ないところかと思いますが、81%の達成率なので、この辺については、ちょっと改善を要するところなのかなと思いました。
- 以上です。
- 岩切会長 ありがとうございます。私のほうから2点質問したいんですが、1点目は、施設管理能力のところ、先ほど必要な専門職員の配置で5の管理運営状況の評価の(3)で常勤職員全員が児童指導員または教員免許所有者であるということで評価があったんですが、これは前年度もそうでしたっけ。
- 始関こども企画課長 前年度も常勤全員です。
- 岩切会長 そうですね。新たなあれではないですね。ここで特に改善されたわけではないですね。
- 始関こども企画課長 はい。
- 岩切会長 わかりました。もう1点ですが、大学生のボランティアサークルを立ち上げてというところがあるんですけども、ジュピターと書いてあるんですけども、これは具体的にどんなようなことなんでしょうか。

○事務局 こちらは大学生のボランティアになっておりまして、交流館が放課後やっている講座とか、受付前のロビーとか、そういったところに顔を出してもらって、主に小学生とか中高生のちょっと層が高い子にはなるんですけども、やっぱり上の大学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんがいると、高校生とかはたまに悩みとか、恋の話とかもそうですけれども、進学とかも含めて、そういうような話がしやすくなって、結構人気が実際あるんですね。そういった形でボランティアなので、大学生の都合がいいときに交流館に顔を出してもらって、来館者の相手をしてもらっているというような活動になります。

○岩切会長 大学生はどれぐらいの規模、人数ですか。

○事務局 ちょっと今、最新の人数はわからないんですが、最初は3、4人から始まって、今はその子の横のつながりで増えていきまして、9人とか10人ぐらいにはなっていると思います。

○岩切会長 9人から10人ぐらいのボランティアになっているんですか。とてもいいことですね。わかりました。ありがとうございました。

それでは、この評価については、既に総合評価も終わっていて、新しい指定管理選定作業も終わっている部分でございますが、評価方法が変わったために混乱しているところも多少あるわけですけども、一応今までの実績もありましたので、大きな問題はないだろうというふうに考えておりますが、ほかに御意見ございませんか。

○小栗委員 1点だけいいですか。この青いファイルの資料2-6の43ページで、来館者数が全体では増える一方、中学生が前年に比べて440名減っているとありますが、減少理由がわかりません。また、増加数は増えていますが、同じ人が何回来てもこの数に入るのでしょうか。

○始関こども企画課長 はい。リピーターが多い。

○小栗委員 リピーターが多いということですね。

○始関こども企画課長 ただ、先ほどもちょっとお話がありました新規登録者数しか、この資料には数字が入っていないんですが、実は登録者数も現在上がってきております。参考までに数字を申し上げますと、26年の4月1日時点で9万9,575、27年の4月1日で10万9,460、28年の4月1日で11万3,531と、実は登録者数も実際は増えてきてはいます。ですので、当初の登録がどんどん伸びてきているということは、子どもたちにとっても、居場所としての認知がされてきているということになるかと思えます。中学生の利用が少なくなってきたというのは、一般的には、中学生になると、部活動であったり、塾であったりでちょっと忙しくなってくるので、利用が少ないということかと思っています。

○岩切会長 それでは、資料2-2の7の(3)委員会の意見をまとめなければいけないんですけども、今、委員の皆さん方から出ました点をちょっと整理してみますと、まず、市の評価については、例年概ね良好な管理運営が行われていると意見を申し上げてきたんですが、今回、優れた管理運営が行われているということになっていきますので、委員会としても市による評価のとおり、優れた管理運営が行われていると認めるということによろしいですかね。

それから、鶴見委員からもございましたが、来館者数が過去最高を更新しております。これは率直に評価をしたいと思います。一方、登録者数が減少しているという点がございいます。これをどういうふうに判断したらいいのかというのは、よくわからない部分もありますが、いずれにしても新規登録者数も増加を求めたいと思うんですね。少子化等はもちろんありますけれども、登録者数の増加に努めてほしいということもつけ加えたいんですが、よろしいですか。

それから、先ほどの来館者の利用者層です。中学生が減少しているという指摘もあったんですが、これは全体的に利用者層の拡大に努めてほしいということでもよろしいですか。

これは皆さん方から意見は出なかったんですが、報告内容を見ますと、これだけの利用者がおりますから、施設ではさまざまなことが起きております。利用者については、低年齢化も伴っておりますので、毎年申し上げてきたんですが、安全対策が重要です。盗難とか、怪我とか、そういう内容がかなり記載されておりますので、このあたりは十分注意しなきゃいけないと思います。あちこちで地震もありますし、危機管理については万全を期されたいということで、ぜひ申し上げたいと思うんですが如何でしょうか。

財務状況については、小栗委員からもいろいろとご意見をいただきましたが、私のほうでうまくまとめられないんですが、要するに従来から話題になっていたものでございます。事業に影響を与えるような大きな問題はないとは思いますが、収支等の記載方法等については、さらに透明性を担保してほしいということも、意見として添えたいと思いますが、よろしゅうございますか。

それでは、文言の整理はこれからさせていただきますが、そういう内容で意見を申し上げたいと思いますが、よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩切会長 それでは、そういう形で進めたいと思います。文言等は事務局と私のほうで最終的に調整をさせていただきますして、委員の皆さん方にお諮りしたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

続いて、千葉市子育て支援館の年度評価について、所管課の方より御説明お願いいたします。

○内山幼保支援課長 幼保支援課の内山でございます。よろしく願いいたします。座って説明をさせていただきます。

それでは、子育て支援館の平成28年度指定管理者年度評価シートにつきまして御説明いたします。A3、縦の資料3-2をご覧ください。シートの見方などにつきましては、子ども交流館と同じとなっておりますので、よろしく願いいたします。

初めに、1の公の施設の基本情報でございますが、施設名称は千葉市子育て支援館、条例上の設置目的は、乳幼児の健やかな育成を図るとともに、子育て家庭を支援するとしております。

次に、2の指定管理者の基本情報でございます。指定管理者名は公益社団法人千葉市民間保育園協議会です。指定期間は平成24年4月1日から平成29年3月31日まで、今回

が最終年度の評価となります。

次に、一番下の3、管理運営の成果・実績の(2)その他利用状況を示す指標でございます。子育て支援館につきましても、参考に平成27年度の実績を記載させていただいております。来館者数は7万1,724人であり、昨年度の7万7,561人から5,837人の減でございます。これは、本市の就学前児童人数の減少と保育所入所児童数の増というような要因が考えられまして、対前年比で92.5%、28年度の目標値と比較しても95.1%となっております。相談件数につきましても、前年から117件減の2,414件でございますが、ファミリー・サポート・センターの会員数は、前年を205人上回る5,501人で目標値に対して118.3%、活動件数も1万2,170件で827件の増となっております。

次に、3ページをお願いいたします。一番下の(3)収支状況でございますが、まず、必須業務の収支状況が122万8,000円の黒字、自主事業の収支はプラス・マイナス・ゼロでございます。総収支といたしましても122万8,000円の黒字となっております。

それでは、2ページにお戻りいただきまして、必須業務から詳細に御説明いたします。4の(1)必須業務収支状況の「ア 収入」でございます。ここでは先ほどと同じように、実績と年度計画に差異が生じたものについて御説明をさせていただきます。

費目の3つ目、その他収入でございますが、計画と実績の差異は8万2,000円でございます。これは、自動販売機の電気使用料や館長の講演料が計画を上回ったものでございます。

次に、下の「イ 支出」でございますが、まず費目の人件費ですけれども、計画と実績の差異はマイナス121万8,000円となっております。これは28年から館長が交代したことがございまして、その交代による賞与、福利厚生費等が計画を下回ったことが主な要因でございます。

続きまして、費目の管理費ですが、差異はマイナス1万7,000円で備品等経費の削減に取り組んだ結果でございます。

次に、費目のその他事業費ですが、差異は8万9,000円でございます。これは消耗品・光熱水費の削減に取り組んだものの、計画に労務管理費が見込まれていなかったために実績が計画を上回ったものでございます。

続きまして、3ページの(2)自主事業収支状況をご覧ください。収入は12万4,000円で、支出も12万4,000円でございます。

以上が収支の状況でございます。

4ページをお願いいたします。続きまして、5、管理運営状況の評価でございます。(2)市の施設管理経費縮減への寄与でございますが、参考と記載した囲みの中をご覧くださいと思います。評価項目、市の指定管理料支出の削減ですが、市の指定管理料の支出実績の6,049万2,000円割る提案額6,049万3,000円で約0.999となりまして、削減率は約0.001%となっております。点線で囲んだ評価の内容に当てはめると、選定時の提案額の5%未満の削減となりますので、評価はCとなっております。

次に、(3)管理運営の履行状況でございます。標準の評価がCとなりますので、色塗りしてございますBの評価項目と、評価の目安をもとに算出した評価から変更した評価項

目につきまして御説明をさせていただきます。なお、子育て支援館につきましては、モニタリングは毎月1回、年間12回実施しておるところでございます。

それでは、5ページをお願いいたします。まず、評価項目2の市民サービスの向上、受託事業の効率的な実施等の(2)受託事業の効率的な実施・創意工夫でございます。公平で安全な利用の担保、親同士の交流の促進への配慮のほか、必要に応じた声かけ、助言、指導が適切に行われており、特にイベントの実施について、絵本の読み聞かせやお父さんと遊ぶなどのイベントを管理運営の基準及び提案の中においては、月に1回、年間12回となっておりますところ、年間31回開催していることを評価いたしまして、評価の目安にのっとりB評価としたものでございます。

次に、評価項目(3)利用者への支援でございますが、モニタリングシートの評価の目安上はC評価となりますが、孫育てにつきまして、生涯学習センター発行の「ちばまなびの森」への寄稿ですとか、広報誌「みんなのわ」により情報発信を行ったことを評価いたしまして、C評価のところをB評価とさせていただきました。

次に、評価項目(4)ファミリー・サポート・センター事業でございますが、これも評価の目安ではC評価となるところでございますが、会員数の増加に対応するために提案を超える職員を配置したほか、依頼会員からの活動日の事前連絡につきまして、従来電話、ファクスのみであったものをホームページからでも受け付け可能といたしまして、利便性の向上を図ったことを評価いたしまして、B評価とさせていただきました。

以上が管理運営の履行状況でございます。

続きまして、(4)こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。平成27年度の評価の際に、「一層の来場者増のため、ニーズの把握やサービス向上により一層努められたい」との御意見をいただきました。平成28年度には利用者から要望のあったイベントカレンダーの掲示を速やかに行ったほか、離乳食用の電子レンジの設置要望がございましたことに対しまして、現在設置の準備を進めているところでございます。

次に6ページをお願いいたします。6の利用者ニーズ・満足度等の把握の(1)指定管理者が行ったアンケート調査でございます。例年と同様に4種類のアンケート調査を実施しております。初めて来館する方向けの「はじめましてアンケート」、2つ目に、リピーターの来館者向けの「支援館アンケート」、3つ目に、ひろば、イベント等の参加者向けの「ひろば・イベント等のリアクション」、そして、館内の「ご意見ポスト」を実施しております。合計で2,137件の回答をいただいております。

概要を御紹介いたしますと、はじめましてアンケートでは、利用目的として最も多いのが、親子で遊ぶためで65.5%、友達をつくるためが9.8%、子育て情報を得るためが7.5%となっております。

2つ目の支援館アンケートでは、利用者の66.2%の方が1時間以上館内で過ごされておりました。よく利用するコーナーは、プレイホール62.1%、創作コーナーが23.6%、絵本コーナーが22.4%、ままごとコーナーが39.2%、親子サロンが20.3%、乳児室が22.3%となっております。スタッフの対応につきましては、受け付けでのスタッフ対応

が93.2%、ホール内でのスタッフの対応で90.4%、気軽に相談しやすい雰囲気では81.1%の方が、5段階評価の上位2項目の「大変よい」と「よい」との回答をいただいております。目的に対する満足度といたしましても、こちらも5段階評価の上位2項目の回答が、子どもが楽しく遊べる場所で95.1%、ほかの親子と交流する場所で71.4%、悩みを気軽に相談できる場所56.1%。子育てに関する情報を得る場所で72.8%と非常に高い評価をいただいております。

3つ目のひろば・イベント等のリアクションにつきましては、よかったとの回答が94.4%となっており、こちらも高い評価となっております。

最後に、ご意見ポストですが、20件の御意見をいただいております。こちらにつきましては、館内にみなさまの声として、回答とあわせて掲示を行っているところでございます。

次に、(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございますが、授乳室の換気口の清掃や子どもが舐めたおもちゃを置く場所ですとか、ほかの利用者のマナーにつきまして御意見をいただいておりますが、こちらにつきましては速やかに対応いたしております、改善に努めているところでございます。

次のページをお願いいたします。最後に7、総括でございますが、(1)指定管理者による自己評価ですが、総括評価はC評価となっております。指定管理者の所見といたしましては、来館者数は昨年度を下回る結果となったが、今後は原因分析も含め、検討していきたい。相談業務について、専門の臨床発達心理士や看護師などを配属し適切に対応している。また、イベントについては、提案を大きく上回る回数で対応しているなどとなっております。

(2)市による評価でございますが、先ほどの4ページ、5ページにございます管理運営状況の評価に基づきまして、評価項目数9項目のうち、B評価が3項目でございましたので約33%がB評価となりまして、6項目がC評価でございます。評価の目安では、評価項目の20%以上がAまたはBで、かつ、DまたはEがない場合、総括評価がBとなりますことから、評価の目安に基づきまして、水準を上回るすぐれた管理運営が行われていたと評価し、Bとさせていただきます。市の所見といたしましては、来館者数が減少しておりますけれども、就学前児童数の減少や保育所入所児童数の増加の影響が要因として考えられますが、今後、市と指定管理者で原因分析を進めまして、利用者増に努めることとしたいと思っております。利用者アンケートの結果からは、引き続き高い満足度が得られており、評価ができる。広報・PR活動として、千葉県生涯大学校及び男女共同参画センターへ館長を講師として派遣したほか、生涯学習センター発行の冊子「ちばまなびの森」に孫育ての寄稿を行うなど積極的なPRを行った。地域子育て支援センター等の基幹施設として、定期的な連絡会議の開催を初め、他施設との連絡調整や職員へのアドバイスを行うなど、その役割を果たした。ファミリー・サポート・センター事業については、会員数、活動件数が増加していることに加え、活動日の事前連絡を従来の電話、ファクスに加え、ホームページから受け付け可能とするなど、会員の利便性を考慮した取り組みが評価できるとしております。

以上が、市による子育て支援館の年度評価でございます。よろしくお願いいたします。

- 岩切会長** ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見、あるいは御指摘等をいただきたいと思っております。財務状況もあわせて、小栗委員、どうぞ。
- 小栗委員** 1点だけ、自主事業の収入と支出が全く同額になっているので若干違和感を感じますけれども、自主事業自体それほど大きな金額でもございませんし、財務のところに関しては、コメントは特にございません。
- 岩切会長** それ以外ではいかがですか。
- 小栗委員** 館長が交代と書いてありますが、最終年度、28年度に館長が交代されたでしょうか。館長交代により賞与、福利厚生が計画を下回ったと書いてあります。
- 内山幼保支援課長** 28年4月で代わってございます。
- 松崎委員** 事業としては、いろいろな工夫をされているなど思っております。ただ、6ページのご意見ポストなんですけれども、みなさまの声として掲示をさせていただいているみたいで、館長の回答とあわせて掲示と書いてあるんですが、どういう回答をしたのかというのが資料で私は見つけることができませんでした。こちらの青いファイルの資料3-6の77ページにあるご意見ポスト一覧が多分それなのかなと思うんですが、その回答はどこかに出ているのでしょうか。どういう回答をされたのかを教えてくださいたいと思います。
- 内山幼保支援課長** 先ほど御説明しました年度評価シートの6ページに(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応がございしますが、ここで例を挙げさせてもらいますと、換気口が埃だらけなのということに対しましては、清掃いたしました、また、今後も定期的に清掃するように徹底いたしますというような回答です。あと、子どもが舐めたおもちゃを置く場所が見当たらないということに対しましては、乳児室のほうにはクリーンボックスを置きまして、そこに入れてもらうようにしているんですが、プレイホールのほうでは職員とコミュニケーションもございしますので、スタッフに声をかけて渡してくださいというようなことを掲示の中に入れて、回答をしている状況でございます。
- 松崎委員** ありがとうございます。できれば、どういう形でどういう文言にしているのかというの、あわせて示していただいたほうがありがたいです。これは対応なので、実際に回答と対応はちょっと違うと思うので、今後は示していただけるといいと思います。
- 昨年も申し上げたとは思いますが、いろいろアンケートをとっていらっしゃる。それに対して、どういうふうに対応しているかというところは、利用者の満足度は高い、けれども、何か言いたいことがあるという人から御意見をいただいたものに、丁寧に返していくということが、やはり利用者の増加につながっていくと思うので、それをどういうふうに行われているとか、ご意見ポスト以外のところでもいろんな御意見があると思うので、それに対してどのように対応していったかということも示していただけるといいかなと思っておりました。
- 岩切会長** ありがとうございます。鶴見委員、お願いします。

○鶴見副会長 利用者数の話になるんですけども、5,800人減で約1割弱と、想定以上に大きいかなという気はします。少子化は当然あると思うんですけども、それを上回る減少率かなと思っていますので、指定管理者にはその分析をしていただいて、もし見直す点があれば見直していただきたいというふうに思っております。

以上です。

○岩切会長 ありがとうございます。ほかにはございませんか。大丈夫ですか。

それでは、こちらについても委員会としての意見を整理しなければいけないんですけども、かなり高評価がなされておりまして、市の評価も高評価でございます。B評価ですので、市による評価のとおり、優れた管理運営が行われているということですのでよろしいですね。

それから、来館者数のことは、今鶴見委員からもあったんですが、かなり大幅に減少しておりますので、少子化等はもちろんあると思うんですけども、来館者数の確保に向けて努力してもらいたいということは申し上げなければいけないと思います。ただ、毎年話題になっておりますが、かなりフル活用されている現状ですので、これをどこまで来館者数の増を目指すべきなのかということ。このことについて、委員の皆さん方はどう思われるかですが、施設の適切な収容人員というものもあるのではないかと思います。そのあたりは意見として言わなくてよいでしょうか。

○鶴見副会長 増はなかなか限界はあると思うんです。ただ、やっぱり前年度同程度は当然確保していただきたい。

○岩切会長 かなり順調に増えてきましたからね。わかりました。

そうしましたら、来館者数の減少については、その原因を検証、分析して、今後の来館者数の確保に努めてもらいたいということですのでよろしいでしょうか。

あと、もう1つは、ファミリー・サポート・センター事業が非常に充実している結果が出ておりますので、ここは従来から改善を求めてきましたので、ここは評価してあげべきじゃないかなと思うんですね。会員数あるいは活動の件数がともに増加しているということは評価したい。これは、こちらの意見に応じて頑張ってくれていますので、そのあたりは評価したい。

あと、利用者アンケート等から、利用者による高い満足度が得られているということは十分わかりますので、これは高く評価したいと思うんですが、あわせて松寄委員からございましたことは意見として加えますか。

○松寄委員 そうですね。できれば、どのようにレスポンスしたか、していくかということも出していただいたほうが良いと思います。もしかしたら、来館者数の減とかにかかわっている可能性もあると思います。

○岩切会長 それでは、文言の整理はまたいたしますが、要するに利用者の高い満足度が得られていることは高く評価できるけれども、さまざまな利用者の意見に対する対応については、さらに丁寧を示してほしいということですか、対応結果ですか。

○松寄委員 そうですね。この資料も対応していくとか、共有しただけでなく、何に対してどうしていくのか、どのようにというところがわかったほうが良いと思います。例え

ば具体的に言うと、先ほどの使ったおもちゃをとということなんだけれども、支援館としてはコミュニケーションをとってほしいために声をかけてくれと言っていると思うんですが、その意図が伝わっていないために置いてほしいということなので、こういうふうな意図で声をかけてほしいからボックスを用意していないんですよということを示しておくことが必要だと考えます。不潔だから、もう来たくないと思われぬように、ちゃんと意図を形にして示すことによって、意見に対して対応しているということが示されるのではないかと思います。

○佐々木こども未来部長 対応の詳細状況ですね。

○松寄委員 そうですね。お願いいたします。

○岩切会長 わかりました。では、高く評価できるものの、利用者からの意見への対応状況については具体的に示してほしいということでもよろしいですか。

○松寄委員 はい。

○岩切会長 大体そんなところですね。あと、財務状況については特段の問題はないということでもよろしいですかね。

ありがとうございました。よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岩切会長 ありがとうございました。それでは、こちらについてもまだしっかりまとまっておりませんが、文言の整理はこれから事務局とさせていただき、整理した結果を委員の皆様にご報告したいと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

それでは、以上で指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての審議は終了したいと思います。

次に、議題の(3)その他について、事務局より御説明をお願いいたします。

○始関こども企画課長 今後の予定につきまして御説明をさせていただきます。

本日、委員の皆様に取りまとめていただきました御意見等につきましては、岩切会長から市長宛てに、委員会の意見として答申をしていただくこととなります。この委員会の答申を受けまして、各施設所管課が委員会の御意見を指定管理者評価シートに記載しまして、9月上旬ごろに市ホームページに掲載し、公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

また、委員会の会議録につきましても、同様に市ホームページにて公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員の皆様には御報告をさせていただきます。

なお、今回の委員会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○岩切会長 委員の皆様方、全体を通して何かございますか。大丈夫ですか。

こちらの方でうまく進められなかったかもしれませんが、いろいろと御意見をいただきましてありがとうございました。

それでは、特にないということでもございますので、本日の委員会は終了させていただきます。

きたいと思います。御協力ありがとうございました。

この後は事務局からお願いいたします。

○事務局 それでは、以上をもちまして本日の委員会を終了させていただきます。長時間にわたり、活発かつ慎重な御審議を賜りまして誠にありがとうございました。